

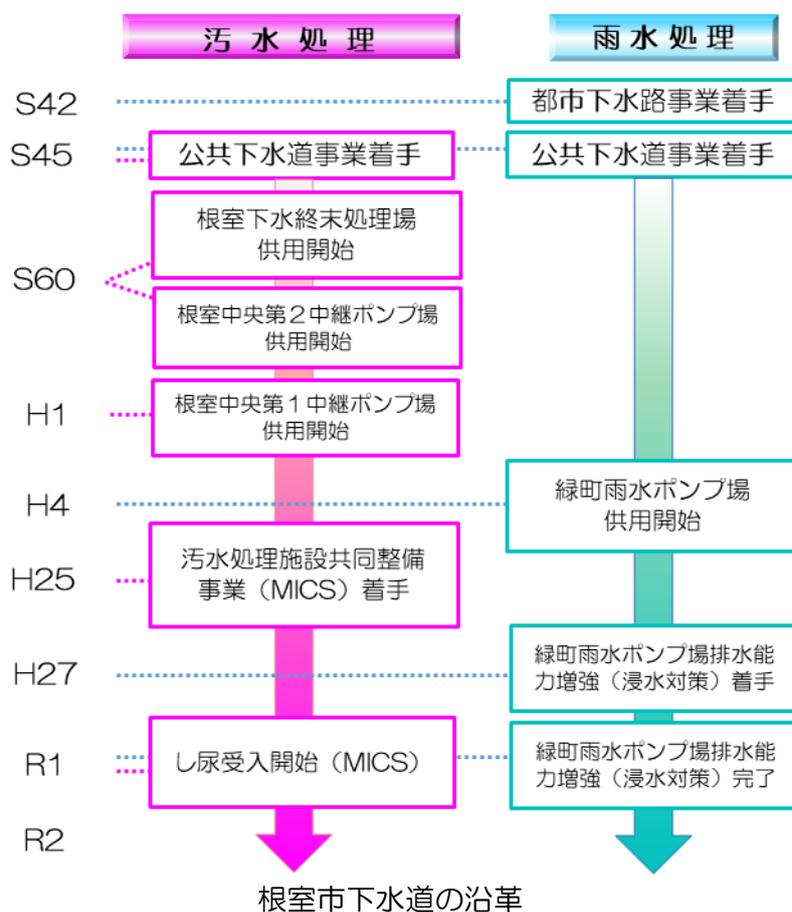
## 第2章 根室市の下水道

### 2-1 下水道のあゆみ

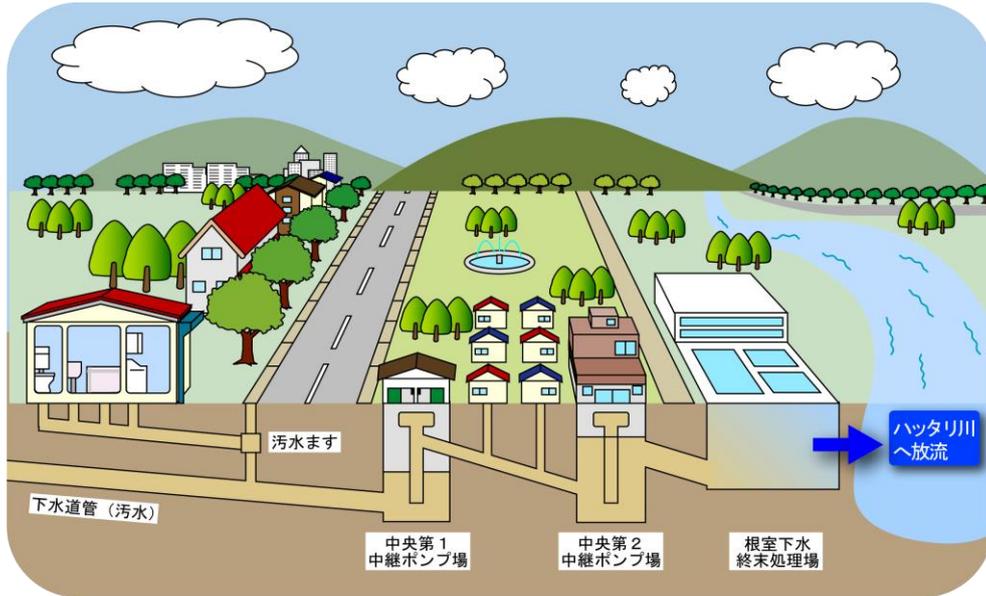
根室市の公共下水道は、昭和42年度に都市下水路事業として着手し、昭和43～44年度に恋問川を中心とした雨水浸水災害を防除するための排水面積115haの都市下水路整備を行ったのが始まりとなっています。昭和45年度に新下水道法に基づく公共下水道基本計画（合流式一部分流）を策定し、全体計画区域425haのうち、予定処理区域184.6haの事業認可を受け、着手しました。

その後、市勢に合わせて基本計画の見直しを行い、区域の拡大や終末処理場の予定地の変更等の変遷を経て、昭和60年8月に根室下水終末処理場（標準活性汚泥法）の供用を開始し、下水道事業が大きく進展しました。現在では全体計画区域1,288.3haのうち、予定処理区域818.1haの事業を進めており、令和元年度末で下水道処理人口普及率が74.3%になっています。

また、平成4年度には浸水対策強化のための緑町地区における雨水排水ポンプ場の建設や、平成25年度には老朽化が進む「根室市し尿処理場」を廃止して、し尿や浄化槽汚泥を下水処理場で処理する「汚水処理施設共同整備事業（MICS）」に着手し、様々なニーズや課題に対する対策を進めています。



## 2-2 施設の概要



根室市の下水道概要図

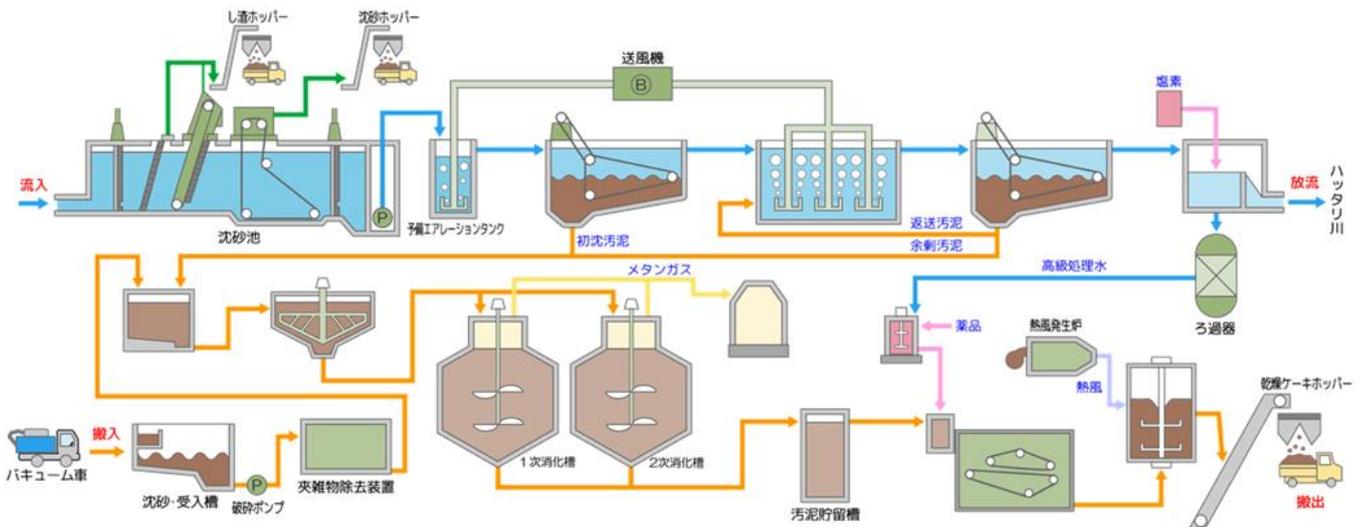
### ■根室下水終末処理場

下水道処理区域内の汚水を処理し、処理水はハッタリ川に放流しています。

- 施設面積：63,600m<sup>2</sup>
- 下水排除方式：分流式
- 処理方式：標準活性汚泥法
- 供用開始：昭和60年8月28日
- 処理能力：11,600m<sup>3</sup>/日（全体・事業計画）
- 計画面積：818.1ha（全体計画 1,288.3ha）
- 計画人口：18,750人（全体計画 19,200人）
- 計画下水量：8,780m<sup>3</sup>/日（全体計画 9,180m<sup>3</sup>/日）
- 放流河川：準用河川ハッタリ川



根室下水終末処理場



処理フロー図

### ■根室中央第2中継ポンプ場

中継ポンプ場とは、地形やその他の条件で、高低差による自然流下で汚水を流すことが困難な場所に設置し、ポンプにより汚水を送り出す施設です。

- 施設面積：740m<sup>2</sup>
- 下水排除方式：分流式（汚水）
- 供用開始：昭和60年8月
- ポンプ能力：
  - 3.0m<sup>3</sup>/分×3台(1台予備)（全体・事業計画）
  - 3.0m<sup>3</sup>/分×3台(1台予備)（現況）



根室中央第2中継ポンプ場

### ■根室中央第1中継ポンプ場

中央第2中継ポンプ場と同じ機能の施設で、中央第2中継ポンプ場より上流側に位置します。

- 施設面積：830m<sup>2</sup>
- 下水排除方式：分流式（汚水）
- 供用開始：平成元年11月
- ポンプ能力：
  - 1.5m<sup>3</sup>/分×4台(1台予備)（全体・事業計画）
  - 1.5m<sup>3</sup>/分×2台(1台予備)（現況）



根室中央第1中継ポンプ場

### ■緑町雨水ポンプ場

降雨の影響による緑町地区の浸水被害を防ぐために、雨水をくみ上げて海域に流す施設です。

- 施設面積：280m<sup>2</sup>
- 下水排除方式：分流式（雨水）
- 供用開始：平成4年11月
- ポンプ能力：
  - 16m<sup>3</sup>/分×2台（全体・事業計画）
  - 16m<sup>3</sup>/分×2台（現況）
  - 10m<sup>3</sup>/分×3台（現況・増設）
  - 5m<sup>3</sup>/分×2台（現況・増設）



緑町雨水ポンプ場